

## フロンティア分科会及び部会における議論の進め方

### 1. 分科会の使命

日本人が「希望と誇りある日本」を取り戻す上で重要なのは、我々が、中長期的に目指すべき国の将来像を示すことであり、その実現のため切り拓いていくべき新たなフロンティアを提示することである。ここでいう新たなフロンティアとは、宇宙や海洋の開発にとどまらず、経済、社会、科学技術、教育（人材育成）、国際関係など多岐にわたる分野における「新たな可能性」を意味し、それに向けた挑戦が活力ある「希望と誇りある日本」を築き上げていくことにつながると考える。そうしたビジョンを提示するため、国家戦略会議の下にフロンティア分科会を設置する。当分科会においては、2050年までを視野に入れた我が国の将来像を描くとともに、国際的・社会的環境が大きく変化すると予想される2025年に向けた方向性を検討し、その内容を中長期ビジョンとして取りまとめることとする。その成果は、国家戦略会議が本年半ば頃を目途に策定する日本再生戦略に資するものとする。

分科会の下に4つの部会を設けて、個別のテーマについて検討する。

### 2. 議論のアプローチ

- (1) 現在の状況から日本の将来予測を行う。
- (2) 目指すべき日本の姿を描く（これまでとは異なる価値観が出てくる可能性もあり）。
- (3) 目指すべき具体的な目標を設定する。
- (4) それを実現するために新たに切り拓くべき領域（フロンティア）を検討する。
- (5) そのプロセスにおけるボトルネックを考える。
- (6) ボトルネックを乗り越え、目指すべき姿を実現していくために、具体的に何をしていく必要があるか検討する。
- (7) 各フロンティア領域とその他の領域との関連について検討する。

### 3. 各部会の役割

既存の課題解決型のアプローチではなく、目標・課題設定から始めるアプローチであることから、検討すべき項目も含めて部会で議論する。

#### (1) 繁栄のフロンティア部会

経済は人々の豊かで安定した生活の基盤であり、日本の積極的な対外的関与を可能にするものでもある。経済がグローバル化し、旧来日本が強かった分野で新興国が急激に追い上げる中、わが国は新しい繁栄のかたちを築いていく必要がある。中間層が分厚い社会を日本経済の望ましい形と位置づけ、イノベーション政策のあるべき姿、日本経済とグローバル経済の結び付け方、通貨変動に対する日本経済の耐久力を高める方策、アジア太平洋地域経済に対する戦略をとるべきか、また新しい時代にふさわしい日本人の働き方、等についてフロンティアを示していく。

#### (2) 幸福のフロンティア部会

経済的基盤は人々の幸福に不可欠な条件ではあるが、経済的に豊かであればすなわち幸福というわけでもない。幸福を実感しやすい社会として、人と人々が様々な絆で結び合う社会、それぞれの人が最大限自らの創造性を発揮する社会、様々な危機から立ち直る力を持つ社会、世代間の受益と負担がバランスし将来世代が希望を持てる社会を目指していくべきである。より根本的に、人々の幸福感を高めるための条件を明確化し、それを政策に反映していくことを考えていくことも必要である。

#### (3) 叡智のフロンティア部会

グローバル化した経済の中で日本経済の競争力を維持し、新しい国際秩序形成を日本がリードしていくには、一流の知恵や知識を絶えず創造し、社会で具現化していく仕組みをつくらなければならない。創造性を高める環境を整えるとともに、第一級の知識が力強い行動に結びつく社会を切り拓いていく必要がある。優れた知識は、行動に移されてはじめて「叡智」となる。

#### (4) 平和のフロンティア部会

世界の平和と国家の安全は、日本の繁栄と国民の幸福の前提条件である。先進国の低迷と大型新興国の台頭により歴史的なパワーシフトが生じる中、我が国は望ましい国際社会の形成をリードしていく必要がある。そのためには、オールジャパンの力を発揮していくことが不可欠であろう。グローバル規模で様々なリスクが発生し、伝播するようになっている今日、新しい視点で国家の安全を図っていくことも必要である。

以上

## フロンティア分科会及び各部会の今後のスケジュール(案)

|    | フロンティア分科会                         | 繁栄<br>部会 | 幸福<br>部会 | 叡智<br>部会 | 平和<br>部会 |
|----|-----------------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 2月 | 第1回(2月1日)                         | 第1回      | 第1回      | 第1回      | 第1回      |
|    | 第2回<br>・各部会の進捗報告                  | 第2回      | 第2回      | 第2回      | 第2回      |
| 3月 | 国家戦略会議へ報告                         | 第3回      | 第3回      | 第3回      | 第3回      |
|    | 第3回<br>・各部会の進捗報告<br>・中間報告のとりまとめ方針 | 第4回      | 第4回      | 第4回      | 第4回      |
| 4月 | 国家戦略会議へ報告                         | 第5回      | 第5回      | 第5回      | 第5回      |
|    | 第4回<br>・中間報告について                  | 第6回      | 第6回      | 第6回      | 第6回      |
| 5月 | 意見を踏まえて修正<br>中間報告公表<br>国家戦略会議へ報告  | 第7回      | 第7回      | 第7回      | 第7回      |
|    | 第5回<br>・最終報告について                  | 第8回      | 第8回      | 第8回      | 第8回      |
| 6月 | 意見を踏まえて修正<br>最終報告とりまとめ            |          |          |          |          |
|    | 最終報告公表<br>国家戦略会議へ報告               |          |          |          |          |

※分科会・部会の回数と時期は概ねの目途であり、議論の状況に応じ適宜調整する。